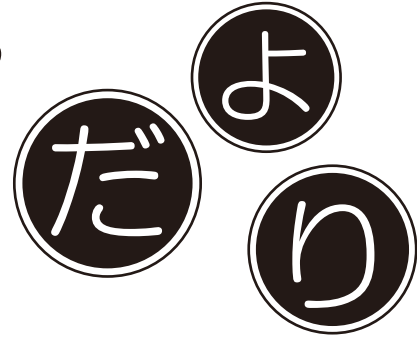




MATSUE CITY COUNCIL  
NEWS LETTER

# 市議会



森國亮さん（鹿島町）撮影（写真上）

「白鳥の親子」

撮影場所：西浜佐陀町

まち歩きで、発見・創造



# 12月定例会

平成24年12月5日～12月21日

## 13億7,917万円の 一般会計補正予算などを可決

12月定例会では、「松江市農山漁村地域活性化基本条例の制定について」の議案や、「松江市営駐車場条例の一部改正について」などの条例改正議案と、道路事業費2,583万円、学校施設  
の環境改善3,265万円などの新規事業、介護給付費、訓練等給付費2億9,067万円、私立保育  
所運営費1億2,281万円などの追加事業と、職員人件費1億8,501万円の減額など各会計の予  
算案件、財産区管理委員の選任など65議案と、議員提出案件1件と委員会提出案件2件の3議案、  
人事案件1件、承認案件1件を可決、同意、承認しました。

### 議員提出案件・委員会提出案件の審議結果

議員提出議案第8号は防災・減災に資する社会資本の整備が必要であり、原子力発電所が立地  
している松江市においては、防災避難道路など災害に強い道路ネットワークの構築や治水対策、  
土砂災害対策、津波対策としての港湾・漁港などの社会資本整備の一層の推進を望むものです。  
意見書に対する討論では、要望がハード事業に偏っている、福祉と防災のバランスのとれた要  
望をすべきとの意見がありましたが、賛成多数で可決しました。

委員会提出案件の2件については、陳情が採択されたことを受けて、意見書を全会一致で可決  
しました。

件 名		審議結果
議員提出 議案第8号	地方の社会資本整備の促進を求める意見書について	原案可決 (賛成多数)
委員会提出 議案第4号	安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の夜 勤改善・増員を求める意見書について	原案可決 (全員)
委員会提出 議案第5号	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書 について	原案可決 (全員)

### 請願の審議結果

請願の審議結果は下表のとおりです

件 名	提 出 者	審議結果
請願第6号 市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市 の線引き制度を廃止することについて	松江市生馬公民館運営協議会 会長 松尾 知樹	閉会中の継続審査
請願第7号 市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市 の線引き制度を廃止することについて	石川 修一	閉会中の継続審査
請願第8号 市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市 の線引き制度を廃止することについて	松江市大野公民館運営協議会 会長 加藤 滋夫 外1団体	閉会中の継続審査
請願第9号 松江市における都市計画法に基づく線引き制 度の廃止について	秋鹿振興協議会 会長 田中 美知夫	閉会中の継続審査

市政のここが聞きたい 17人の議員が質問

# 12月定例会 一般質問

12月定例会では、12月10日から12月12日までの3日間にわたり一般質問を行いました。  
質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。



もりわき 幸好 (松政クラブ)

- ・松江市陸上競技場について
- ・新体育館の名称について
- ・松江歴史館のあり方について
- ・線引き制度と固定資産評価について

## 質問 松江歴史館は収支のことばかりで論ずべきものではないと思うが

松江市の貴重な歴史資料、文化財を保存・展示する博物館であり、出雲玉作資料館などと同様に、有料入館者数や収支のことばかりで論ずべきものではないと思うがどうか。

## 回答 歴史館単独の収支を捉えるのではなく総合評価すべきものである

可能な限りの収入の確保や経済効率性を考慮することも必要ではあるが、貴重な歴史資料等を一元的に管理し、次世代に引き渡していくことが重要であり、採算性や収支ばかりで論ずべきものではなく、総合評価すべきものである。



ひら 幸男 (松政クラブ)

- ・人口減の社会について
- ・養育について
- ・まちづくりについて

## 質問 拠点連携型のまちづくりと都市再生の考えを伺う

今年度、拠点連携型のまちづくりについて、各議員から質問があったが、検討の域から出ていない。改選に向けた市長のダイナミックなまちづくり構想など夢のある取り組みと都市再生について伺う。

## 回答 定住環境整備で人口定着を図る

定住環境を基盤において考え、街の形を拠点連携型の都市構造に変えていきたい。地域拠点形成については、周辺部だけでなく、地域拠点を支えるいくつかの中間的な拠点という考え方を取り入れたい。都市再生については、中心市街地の人口定着を進めていくことが重要であり、高齢者住宅の建設や公共交通の充実、景観面の向上など、市民の皆様が住みたくなる住宅環境をつくりたい。



なんば いわお (真政クラブ)

- ・市政方針のまち歩き
- ・中心市街地整備
- ・中村元記念館の開設
- ・道州制の導入
- ・境港出雲道路の早期整備
- ・建設業の現状と問題点及び対策
- ・医療、介護

## 質問 公共事業の低入札価格は問題である

公共事業が激減し、低入札が常態化する。低入札のため、下請けへも低価格低賃金となり建設労働にたずさわる作業員がいなくなる。低入札のため良質な社会資本を残すことができない。低い給料と将来性のなさから土木工学を目指すものが少なくなる。その結果、建設会社も技術者も作業員もいなくなる。対策として最低制限価格を設計価格の90%とすることを望む。

## 回答 最低制限価格の引き上げを検討する

建設業の皆さん方には平常時のインフラの維持管理だけでなく、災害時における対応等、大変大きな役割を担っていただいている。こうしたことを今後も果たしていただく上においては、地元建設業の育成、さらなる品質確保を推進する観点から、最低制限価格の引き上げについて検討する。



つもり りょうじ (市民クラブ)

- ・政権交代の総括（選挙後の政治構造に求めるものは、政権交代は何を残したのか。）
- ・原発問題
- ・公契約条例
- ・財政問題（平成24年・10月松江市策定中期財政見通しが示されて）
- ・松東地域のまちづくり

## 質問 原発の再稼働は住民投票で判断しては

原発に対する市民の皆様意識は大きく変化し、原発についての理解、学習は飛躍的に高まっている。専門性を有する点はあると思うが、そこは十分な説明を行って、原発と共存し、安全性や危険負担も市民の皆様とともに背負っていくべき覚悟と責任も共有していただく観点からも、再稼働については住民投票で判断すべきと考えるが。

## 回答 住民投票にはなじまない

非常に専門的な知識等々踏まえて判断をしていかなければいけない問題である。いろいろなご意見をいただきながら、最終的には議会等々十分議論を交わしたうえで判断をしていく必要があると思っており、住民投票にはなじまないと思っている。



か もと いちろう  
**加本 市郎**

会派代表質問  
(公明クラブ)

- ・中期財政見通しについて
- ・生活保護について
- ・島根原発事故を想定した広域避難計画について

**松江市の避難計画の策定期間と橋梁の耐震**

**質問 調査の計画は**

島根県が策定した広域避難計画を受けて、松江市の避難計画の策定期間と、避難にあたっての橋梁の耐震調査と対策工事の時期を伺う。

**地域防災計画の早期策定と耐震対策工事を**

**回答 平成26年度末までに実施**

地域防災計画を、平成25年3月18日までに改定するので、なるべく早く策定する。市道に架かる橋梁は12橋あるが、1橋は耐震化の必要はなく、11橋については現在調査設計中であり、平成26年度末までに対策工事を行う。



かたよせ なおゆき  
**片寄 直行**

(共産党議員団)

- ・市長の政治姿勢
- ・広域避難と地域防災計画

**質問 活断層の連動考慮した津波対策を**

島根原発敷地前面海域＝日本海での断層の連動の可能性について中国電力は認めているが、島根県の地震被害想定調査検討委員会の報告書には入っていない。連動した場合の津波対策を島根県と協議し、松江市の地域防災計画に入れるべきではないか。

**回答 島根県で検討されれば反映する**

島根県地震被害想定調査検討委員会の報告書で示された6つのパターンの津波想定に基づき、地域防災計画を策定している。

日本海での活断層の連動性について、島根県において新たな知見として検討されれば、状況に応じて、松江市の防災計画に反映することになる。



もりわき はやと  
**森脇 勇人**

(松政クラブ)

- ・松江市の景気対策について
- ・高校生の定住・雇用の現状について
- ・大切な事の継承と雇用促進について
- ・松江歴史館について
- ・本庄工区について
- ・幼稚園・保育所の事故について

**質問 本庄工区の今後の予定は**

上宇部尾埋立地、八束町北西海岸埋立地など国営中海土地改良事業、本庄工区の今後の予定を伺う。

**回答 来年度中に埋立地を取得する**

25年竣工に向けて現在、県道美保関八束松江線の整備工事、排水路工事、埋立地確定測量業務などが、国、県において進められている。今後、市としては、公有水面埋立法の竣工のために土地利用計画の策定を今年度中に行い、来年度中には国から埋立地の取得を予定している。上宇部尾埋立地の買い取り価格は平米あたり1,000円以下、八束町の北西海岸埋立地は平成16年に町が希望した条件を、農林水産省に条件提示している。土地の利用方法については、今後、地元住民の皆様、議会の皆様と相談して考えていきたい。



のつ てるお  
**野津 照雄**

(松政クラブ)

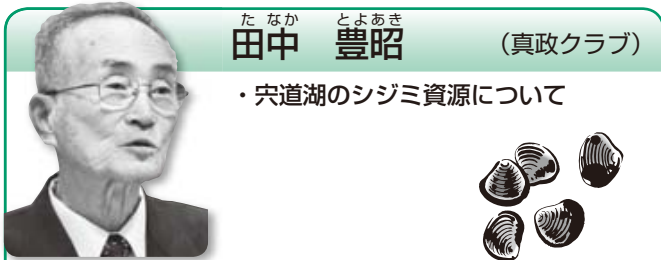
- ・ホーランエンヤ伝承館
- ・中海・宍道湖圏域での水産事業
- ・再生自然エネルギー
- ・大橋川改修事業
- ・中海大橋の工事
- ・松江だんだん道路・縁結び大橋
- ・東川津地区の都市計画

**質問 宍道湖、大橋川湖底を耕運する機器の活用改良機器の開発、導入を**

シジミ、アサリの死滅対策として完成した、湖底、川底を耕運する機械を、宍道湖漁協東部青年部の協力で実地実験、調査されたが、その状況、結果は。また、パワーアップした改良機器の購入及び活用計画について伺う。

**回答 松江発の技術で改良を加え広めたい**

宍道湖漁協東部青年部に委託し、剣先川で今年9月から月2回運行しているが、効果として、シジミの量が1.3倍に増加した。来年度はさらに増加が見込めるとの報告を受けている。湖底を耕運する機器は、松江発の技術として広めていきたい。産業振興、雇用の確保等に繋げていきたいという思いがあり、これからもぜひ改良を加えてやっていきたいと思っている。



たなか とよあき  
**田中 豊昭** (真政クラブ)

・宍道湖のシジミ資源について

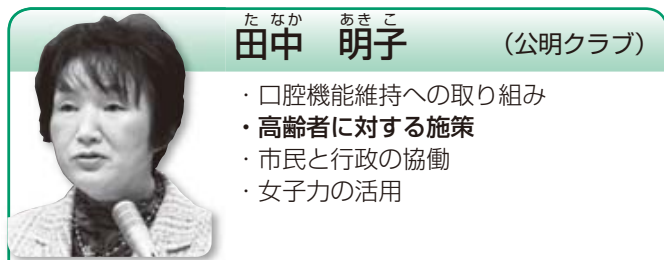


**質問** シジミ資源回復にむけて各種事業に取り組むべきでは

漁獲高で島根を追い抜いた青森県の小川原湖では、人工採卵放流、湖底耕運、覆砂事業が3本の柱として行われている。年間1,000万円事業規模である。本市の状況はどうか。特に本市が取り組んでいない事業で人工採卵事業がある。漁協と協力し採卵事業に取り組むべきではないか。

**回答** 県や宍道湖漁協と協力し支援していく

宍道湖シジミ資源の回復について、シジミ採苗放流事業、竹林型増殖施設整備事業を実施している。事業費ベースで年間約250万円である。また水質改善としてエアコンプレッサー等の改良、湖底耕運機の導入に928万円。今年度から耕運事業に40万円予定している。採卵事業は宍道湖漁協、県水産技術センターと連携し、良い方法につき積極的に支援していきたい。



たなか あきこ  
**田中 明子** (公明クラブ)

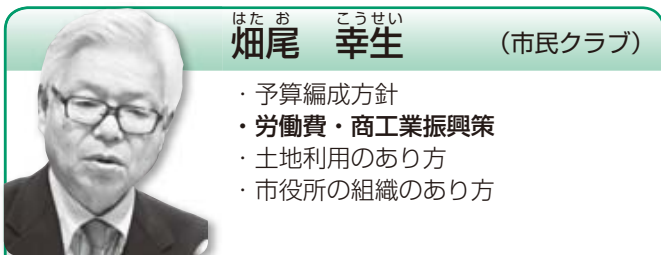
- ・口腔機能維持への取り組み
- ・高齢者に対する施策
- ・市民と行政の協働
- ・女子力の活用

**質問** 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に対して助成を

昨年、死因の第3位となった肺炎は、5年に1度の肺炎球菌ワクチン接種で予防できる。接種費用が高額負担となるので、助成制度を設けてほしいとの要望があるが、考えを伺う。

**回答** 現在、厚労省で定期接種化を検討中

現在、厚労省の予防接種部会は、成人用肺炎球菌ワクチンについて、定期接種化とすることを提案しており、新たに予防接種法の定期接種とするかどうか検討をしている。その動向を踏まえ、また他都市の取り組み状況も参考にしながら判断したい。



はたお こうせい  
**畑尾 幸生** (市民クラブ)

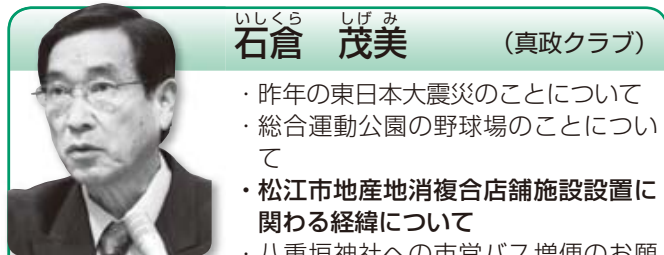
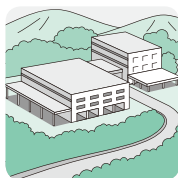
- ・予算編成方針
- ・労働費・商工業振興策
- ・土地利用のあり方
- ・市役所の組織のあり方

**質問** 松江市の企業誘致戦略は

企業誘致に関して、市長のトップセールスを行う気概と決意を伺う

**回答** トップセールスの有効性は十分認識している

島根県内の工業団地が立地している市町村の協議会長をしており、県が主体となって行われる東京、大阪、広島等での誘致活動に毎回出かけている。一番感じることは我々の熱意である。何をセールスするかと言えば、従業員が本当に暮らしやすいかが一番ポイントになってきていると思う。これからも松江の特徴を宣伝してトップセールスをやっていきたい。



いしくら しげみ  
**石倉 茂美** (真政クラブ)

- ・昨年の東日本大震災のことについて
- ・総合運動公園の野球場のことについて
- ・松江市地産地消複合店舗施設設置に関わる経緯について
- ・八重垣神社への市営バス増便のお願い

**質問** 地産地消、観光推進のための地元産物販売複合施設設置は

地産地消複合店舗施設の設置目的は①市民に地場産農林水産物を提供し地産地消の推進を図る②本市農林水産物の情報発信、観光拠点としての一翼を担う③農水商工連携の推進、である。松江商工会議所、JFしまね、JAくにびき等で検討、松江市とも協議中であるが現在凍結されている。市長もぜひ産直市場の設置を検討したいとされているが現況はどうか。

**回答** 趣旨は認識している 関係者の全体合意参画の中で検討したい

産直市場については、地産地消の観点からぜひ実現させたいと考えているが、関係者の意思が合意となっていない。経営主体、市としての関与、事業規模、将来収支等が詰められねば進展しない。基本構想の段階から関係者の参画を求めて調査検討していきたい。

※会議録は松江市議会ホームページ (<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html>) でご覧いただくことができます。



のつ なおつぐ  
**野津 直嗣** (松政クラブ)

- ・観光振興部および観光政策の抜本的な見直しについて

**質問** 観光政策の抜本的な改革については

このまま観光政策でいくのか。また、まちづくりや産業振興とともに、地に足のついた観光政策を土台づくりからやっていくのか。観光政策の抜本的な改革も含めた市長の考えを伺う。

**費用対効果・機構改革などもしっかりと考え検討していきたい**

イベント事業を含めた観光政策の費用対効果の検証、また産業経済・まちづくりなどとも今後しっかりと連携して、観光政策の抜本的な改革に関しては検討していきたい。



いいつか ていこ  
**飯塚 梯子** (共産党議員団)

- ・国保行政について
- ・学校給食費の負担区分の改善について

**質問** 保護者負担としている管理費の改善を

松江市の学校給食費の中には、管理費として給食会運営費が含まれている。東出雲学校給食センターで1食あたり5円、その他の給食センターで同3円が保護者負担となっている。学校給食法では学校給食に必要な経費は小学校等の設置者と給食を受ける保護者との負担区分を規定しており、こうした必要経費は設置者が負担することとなり改善すべきではないか。

**回答** 管理費部分は市費で対応したい

嘱託職員人件費など管理費としていただいている部分について、来年度から市費での対応を予定している。その後の管理費の取り扱いについては、米価をはじめ、副食費も上昇しており、総合的に検討していきたい。保護者の皆さんや関係者にきちんと説明してまいりたい。



ののうち まこと  
**野々内 誠** (松政クラブ)

- ・松江市策定中期財政見直しについて
- ・農業振興について
- ・松江市ものづくりアクションプランについて

**質問** F補助金\*の東出雲地域への拡大は

松江市ものづくりアクションプランの施策展開とともに、現在の業績不振から脱却するためには、核となる新たな企業立地が必要であり、優遇策としていわゆる「F補助金」が必要だ。東出雲地域への拡大について市長の考えを伺う。

**東出雲地域に限定した何らかの支援策を検討したい**

ものづくりのまち東出雲町には、当然F補助金の適用はあるべきだと考えているが、国のエネルギー戦略からは壁が厚く、F補助金の適用には時間がかかると思っている。そこで、F補助金が拡大されるまでの間、東出雲地域に限った何らかの支援策導入について今後検討したい。

\* F補助金：原子力発電所周辺地域へ企業立地し、補助要件を満たす企業が支払った電気料金に対して給付金を給付する制度



きたに まい  
**貴谷 麻以** (真政クラブ)

- ・ホーランエンヤとホーランエンヤにおける女性の働きの評価
- ・天神川の浚せつ、八幡川河口域道路や県管理河川における市との連携
- ・市民協働、ボランティアセンターと市民活動センター
- ・女性の安全について
- ・地域振興に発想の転換が必要（原発を含め）

**質問** 市民協働を拡充して市政運営を

市民の方々の志を持ったご尽力が松江市や地域を良くする力であると思う。市役所内部で話し合うばかりではなく、例えばボランティアセンターにおけるフォーラムのように、広く市民の方々同士の話し合いを今こそ高める時期ではないか。市民協働の拡充への庁内各部署の取り組みは。

**市民協働を拡充し市民の方々のご意見がより反映される機会作りをする**

ボランティアセンターや市民活動センターの両センター利用者同士の方々の、話し合いの橋渡しや、市民の方々のご意見がより反映される機会作りを実施していきたい。市民協働の一例を挙げると、樹木マップや音声データ、バリアフリー等、多くの部署で協働が進んでいる。今後とも市民協働について拡充していきたい。



たくの けんじ  
**宅野 賢治** (友愛クラブ)

- ・中核市と特例市統合と国、県、松江市との役割分担など行政体制の再構築
- ・防犯対策・防犯カメラ設置
- ・メガソーラーの普及
- ・駅前地下駐車場の今後の活用方法
- ・松江市立幼稚園の給食実施

**質問** メガソーラーを誘致する考えは

公募による遊休地など活用したメガソーラー（大規模な太陽光発電所）を誘致する取り組みについて伺う。

**新たな付加価値が生まれる仕組みを検討し**

**回答** て取り組んでいきたい

遊休地へ誘致してその土地の賃借料を収入にしていこうという手法では新たな雇用がなかなか得たい面がある。そこで、広島県においては、事業者を県も民間も共同出資をして事業体を作り上げ、売電することで得られた収益を県も出資割合に応じていただき、県民サービスに還元する仕組みが試みられている。

本市も参考にしながら導入に際して新たな付加価値が生まれるような仕組みを検討していきたい。

遊休地の情報提供あるいは提供含めて、取り組んでいきたい。

**2月定例会日程**

月	日	曜日	会議名
2	22	金	本会議（会期の決定・委員長報告・討論・採決・提案説明・予算特別委員会設置） 予算特別委員会（正副委員長互選）
	27	水	本会議（一般質問）
	28	木	本会議（一般質問）
3	1	金	本会議（一般質問・議案質疑・委員会付託）
	4	月	予算特別委員会（質疑・分科会委託）
	5	火	総務委員会、教育民生委員会
	6	水	総務委員会、教育民生委員会 建設環境委員会現地視察
	7	木	経済委員会、建設環境委員会
	8	金	経済委員会、建設環境委員会
	13	水	予算特別委員会（分科会長報告・採決）
18	月	本会議（委員長報告・討論・採決）	

**陳情の審議結果**

陳情の審議結果は下表のとおりです

件名	提出者	審議結果
陳情第34号 第五大橋道路開通に伴う松東地域のまちづくりと線引き制度の見直しについて	松江市川津地区自治連合会 会長 久保田 明雄 外6団体	閉会中の継続審査
陳情第37号 市街化調整区域廃止について	持田地区自治連合会 会長 小草 通男	閉会中の継続審査
陳情第38号 市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市の線引き制度を廃止することについて	本庄地区町内会連合会 会長 中島 勇夫 外1団体	閉会中の継続審査
陳情第40号 島根原発をなくし、再生可能エネルギーへの転換を求めることについて	原発ゼロをめざす島根の会 代表 舟木 健治	閉会中の継続審査
陳情第43号 市街化区域と市街化調整区域を定めた松江市の線引き制度を廃止することについて	松江市建築組合 組合長 内田 耕治	閉会中の継続審査
陳情第46号 松江市の小中学校の図書室から「はだしのゲン」の撤去を求めることについて	中島 康治	不採択 (賛成なし)
陳情第48号 安全・安心の医療・介護実現のための看護師等の夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出を求めることについて	島根県医療労働組合連合会 執行委員長 佐野 みどり	採択 (全員)
陳情第49号 介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める意見書の提出を求めることについて	島根県医療労働組合連合会 執行委員長 佐野 みどり	採択 (全員)
陳情第50号 携帯電話基地局設置に際し、地元説明が十分行われるよう指導を求めることについて	松江市東忌部町千本自治会 会長 狩野 幹夫	閉会中の継続審査
陳情第51号 電磁波の健康被害対策を国に求める意見書の提出を求めることについて	松江市東忌部町千本自治会 会長 狩野 幹夫	閉会中の継続審査
陳情第52号 県に乳幼児等医療費助成制度拡大を求める意見書提出を求めることについて	島根県保険医協会 会長 吉岡 繁治	不採択 (賛成少数)
陳情第53号 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律を廃し、新たに性同一性障がいに関連する人権の保障に関する法律の制定を国に求める意見書の提出を求めることについて	紫の風 上田 地優	閉会中の継続審査
陳情第54号 生活保護基準の引き上げはしないことなど国に意見書提出を求めることについて	松江生活と健康を守る会 会長 高取 謙次	不採択 (賛成少数)

※会議録は松江市議会ホームページ（<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html>）でご覧いただくことができます。

## 委員会行政視察報告

### 利用者のための公共交通を

平成24年10月10日～12日  
総合交通対策特別委員会 森脇 敏信 委員長

- 【長野県安曇野市】 デマンド交通「あづみん」
- 【長野県長野市】 ICカード「くるる」
- 【千葉県市原市】 コミュニティバス「あおばす」

安曇野市ではワークショップやアンケート調査を行い、市民の声を十分に反映させたデマンド交通を、合併後広がった市域の公共交通として導入しています。利用者が使いやすいものとなるよう、定時定路線運行や地域を限定した夜間運行などを組み合わせた交通システムを構築し、利用者の声を常に反映していきながらサービス向上に努めていました。

このほか長野市では、ICカードを活用したバス交通の利用促進、また市原市では、地域住民が主体となって行っているコミュニティバスの運営状況を視察しました。

※デマンド交通：事前に電話などで予約した人の家や指定する場所を順次まわりながら、それぞれの目的地で降ろす「乗合タクシー」方式の交通システム



予約を受け付けるセンターを視察（長野県安曇野市）

### まちづくり支援情報システム、定住促進支援制度などを視察

平成24年10月23日～25日  
建設環境委員会 森脇 幸好 委員長

- 【石川県金沢市】 金沢市まちづくり支援情報システム
- 【岐阜県白川村】 重要伝統的建造物保存群保存地区の保存
- 【石川県小松市】 定住促進支援制度

金沢市では、まちづくり支援情報システムについて研修しました。これは、景観情報、用途地域、地区計画、まちづくり協定区域などの都市計画関連情報、建築関連情報の地すべり防止区域、土砂災害警戒区域についてインターネットで確認できるというものでした。

白川村では、重要伝統的建造物保存群保存地区の保存について研修しました。保存地区(世界遺産)においては住民憲章を定めて、住民主体で保存活動をされているが、保存を進めることが人口を増加させることの障害になっているということで、住民の皆さんの保存に対する意識の高さと日々の大変な苦勞を感じました。

小松市では、定住促進支援制度について研修しました。中でも飛行場周辺地区居住環境整備助成金制度は飛行場周辺の騒音区域に防音性能を備えた住宅を建てる場合の補助制度で、小松市内業者利用の場合には助成金が2倍になる、また交付条件に地域コミュニティへの参画同意することなどがあり、大変参考になりました。



住民主体で保存されている農村風景（岐阜県白川村）

### 内水排除対策事業などを視察

平成24年10月30日～11月1日  
宍道湖・中海問題等対策特別委員会 出川 修治 委員長

- 【秋田県大仙市】 内水排除対策
- 【秋田県横手市】 山と川のある景観まちづくり条例
- 【秋田県秋田市】 かわまちづくり:新屋表町通り景観まちづくり

大仙市では、内水排除対策について研修しました。昨年の市内中心部の浸水被害を契機に、一定の雨量に達すると自動でスイッチが入るポンプ場施設設置事業や、普段は公園として利用されていて、水害時に調整池になる場所等、現地視察を行い、大変参考になりました。

横手市では、山と川のある景観まちづくり条例について研修しました。

秋田市では、新屋表町通り景観まちづくりについて研修しました。新屋表町通りは一級河川雄物川河口南側に位置し、良質な湧き水や井戸水を利用して味噌や醤油の醸造のまちとして栄え、現在も古建築や湧き水が残っており、これらを保存、継承するための取り組みは参考になりました。



一定の雨量に達すると自動でスイッチが入る常設ポンプ場視察（秋田県大仙市）

### 皆様のご意見をお寄せください

〒690-8540 松江市末次町86  
議会広報等特別委員会(松江市議会事務局)  
電話 (0852)55-5433  
ファックス (0852)55-5533  
議会事務局メールアドレス giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス  
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/top.html>

宅野賢治

議会広報等特別委員会

議会はチェック機能と時に政策立案も強化していかなければなりません。執行部提案の条例制定、改廃だけでなく、議会側からも市民の側に発信していく必要があります。先頃、全会派が参加し「政策条例研究会」を立ち上げました。市民生活の充実に研究し、成果が報告できるようにしたいと考えます。

編集後記